

令和7年度の活動方針

No.	令和6年度の実施内容			令和7年度の活動方針
	主な課題	対応及び経過	成果及び結果	
1	【福井市支援が必要な児童に関するハンドブックについて】 支援が必要となった場合に受けられる支援や困ったときに相談できる場所について周知する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度にこども部会を中心に関係機関協力により作成。 ・令和5年度に関係機関向けに冊子配布。市民向けに案内チラシ及びホームページ上にて発信。 ・令和5年度からこども部会にて意見徴収し、更新を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「福井市支援が必要な児童のためのハンドブック」について、こども部会の委員がそれぞれの分野から内容を確認し、意見をとりまとめた。<u>資料1</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、修正や追加などがあれば、こども部会の意見を元に内容を更新し、関係機関で周知を行う。 <p>⇒就労選択支援の実施に伴う移行支援、18歳以降の支援についての内容を充実させる。</p>
2	【各支援機関の役割・連携体制の整理について】 診断を受けた児童が、適切な支援（福祉）につながらないケースがある。 他機関で支援を受けている子の支援体制を検討する機関が明確になっておらず、連携した支援につながりにくい。	<ul style="list-style-type: none"> ・各支援機関の役割と支援内容について明確化。 ・多角的な視点から見た「福井市における障がい相談支援体制」について整理。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各支援機関の役割と支援内容が明確になり、「福井市における障がい相談支援体制」について、関係機関向けの図として整理できた。 ・関係機関向けの図について、各分野での研修機会などを通じて、障がい福祉課として説明していくことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関向けに整理された「福井市における障がい相談支援体制」の図について、市民向けにわかるよう整理し、ハンドブック等を用いて周知を行う。
3				<p>【児童発達支援センターを中核とした障がい児支援体制整備について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域障がい児支援体制強化事業の外部評価を行い、本市における障がい児支援体制の現状や課題に関する協議を行う。